

学校再編に係る附帯意見書（案）

小松島市立学校再編有識者会議（以下「有識者会議」という。）においては、中・長期的な展望に立ち、小松島市の児童数の推移や施設の状況を踏まえるなかで、小学校再編は不可欠であり、小松島市がめざす教育環境を実現するため、小松島市立学校再編基本計画（案）（以下「基本計画（案）」という。）の審議を行ってきた。

学校は、子どもたちが教科等の知識や技術を習得するだけでなく、集団のなかで多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につける場所である。有識者会議においては、子どもたちにとってより良い学校再編とするため、学校の規模・配置、通学支援・防災対策等々、様々な観点からの意見が述べられた。

今後、具体的な再編内容等を明記する小松島市立学校再編実施計画（案）の策定にあたっては、有識者会議の意見等を尊重し、学校教育の直接の受益者である保護者や地域住民の十分な理解、協力を得るとともに、社会情勢の変化や地域の実情等に応じて柔軟な対応を図られたい。

以上、基本計画（案）とともに、小松島市教育委員会の学校再編に対する附帯意見とする。

平成30年1月22日

小松島市教育委員会
教育長 吉岡 誠 殿

小松島市立学校再編有識者会議
会長 三橋 謙一郎